

私たちがめざすもの それは・・・

ゆたかな緑 きれいな水 いきた大地

NPO法人水環境研究所

わきみず通信

第21号

平成30年10月31日発行



畔田谷津湧水 (佐倉市)

活 動 し ポ ー ト

畔田谷津レポート「実験水路完成」

千葉環境再生基金の助成事業としてスタートした畔田谷津調査は、早3年目を迎え、今年度から水路実験に取り組むこととなりました。これまでの2年間では地質調査や観測井における地下水位測定、水質分析などにより、沖積層内での地下水の動態とそれに伴う水質の変動が少しずつ明らかになってきました。どうやら、沖積層内では下位の洪積層からの地下水と地表面の表流水の浸透した地下水がお互いにせめぎあって、沖積層内での環境変化は不安定であることがわかってきました。どうやら地下水位と酸化還元環境が関連性が強く、窒素の浄化作用に影響していると思われます。地味な調査ですが谷津内での脱窒の機構解明に一步步近づいているのが感じられます。これらの成果は、昨年度に地下水学会や環境情報科学などで発表してまいりました。

3年目の今年は、いよいよ水路実験を試みようとして、千葉大学の近藤研究室のメンバーとともに工夫を凝らし水路を完成させました。この水路での実験は湧水口から水路まで約30mの距離を直接水路に導水して、約10mの水路内に復元した湿地で浄化の効果を直接測るという計画です。

ところが、水路ができたのも東の間、今年の梅雨の少雨が原因なのか、昨年に引き続き今年も湧水が7月から枯渇、台風は来るものの8月、9月も実験水路は渴いたまま。このままでは実験がスタートできないと焦りを感じ始めた10月、やっと湧水が復活したのです。そういえば昨年も一時枯渇し、復活したのは10月でしたね。水路内は落ち葉が溜まってしかも三角堰に改造した衣装ケースの中にはザリガニと悪臭が！！ 早速改修を行い、やっと湧水が水路に流入するようになりました。このまま順調にいけば11月の調査では測定が可能になります。結果が楽しみです。



湧水の3カ月ぶりの水質測定



やっと復活した湧水！



湧水モニタリング始まる！



調査風景

(我孫子市桃山公園の湧水)
公園の重要な景観として湧水が一役買っています。

今年も湧水調査の季節がやってまいりました。ちばの湧水めぐりの発行から8年目を迎え、「ちばの湧水めぐり改訂版」に向けて動き始めました。8年の間に新しい湧水が加わった一方で、残念ながら8年前と形を変え、湧水量が激減した湧水や、地形の変化で完全に亡失してしまった湧水もありました。

地下水は環境変化に反応するため、地下水が地表面に現れた湧水は、簡単に環境を測れる重要な役割を担っているといえるでしょう。

今年も、メンバーの動きも早く9月には早々に調査が終了したチームもありますが、調査はまだまだ続いています。まだ調査に参加したことがない会員の皆様、この機会に参加して自然と触れ合ってみませんか？

調査で出会った素敵な風景と、新しく追加された湧水をいくつか写真で紹介します。



都会のオアシス
(柏市小袋池散策路内)
喧騒を離れ、静かな秋のワンシーン。



大仏頂寺弘法の瀧(酒々井町)
ここにも弘法伝説が・・・



法泉寺の湧水(酒々井町)
相当の湧出量です。



高野山桃山公園の湧水(我孫子市)
ビオトープに利用された湧水です。
駐車場も完備、とても調査しやすい地点の一つです。



小堤の湧水(横芝光町)
お酒の醸造に利用されていたそうです。

シンポジウム開催のお知らせ

下記の内容で水環境研究所が主催するシンポジウムを開催いたします。

このシンポジウムは、公益財団法人印旛沼環境基金助成事業として、畔田谷津で実施している「谷津田の窒素浄化に関する機能と役割調査」の研究成果を発表するとともに、共同研究者である千葉大学の近藤先生、東邦大学の西廣先生にも参加いただいで、これからの印旛沼流域に分布する谷津田の活用について皆さんと活発な意見を交わす予定です。

皆様のご参加をお待ちしております！

公開シンポジウム 「印旛沼、未来への可能性」～印旛沼流域における谷津の機能と役割～

開催日時：平成30年12月1日（土） 午後1時半より

会場：佐倉市立美術館4階ホール

（プログラム）

【第1部】講演会・研究発表

1) 基調講演：印旛沼流域の地形・地質的特徴

（千葉大学環境リモートセンシングセンター教授 近藤 昭彦氏）

2) 研究成果発表

印旛沼流域の谷津田の分布と特徴（千葉大学 堀江 政樹氏）

谷津湿地における水質浄化の特徴（水環境研究所理事長 瀧 和夫）

【第2部】パネルディスカッション 「印旛沼、未来への可能性」

座長：東邦大学理学部生命圏環境科学科准教授 西廣 淳氏

★湧水モニタリング調査

事務局からのお知らせ

(1) 名誉会員の誕生について

第15回総会において定款第6条（会員の種別）変更が承認され、新たに名誉会員の枠が追加されました。このことにより、本法人設立にご尽力いただいた堀田和弘氏、及び今橋正征氏が初めて名誉会員となりました。お二人にはこれからも引き続き当法人の運営や事業活動にご指導・ご助言をいただき、NPOの発展に寄与していただけるものと期待しております。

(2) 平成29年度会費の納入のお願い

お支払方法：銀行振り込み（振込先 千葉銀行 本店営業部（普通）3706977
又は事務局へ直接（080-6515-6497）

本法人は皆様の会費により運営されており、活動に伴う消耗品や活動参加者への交通費、日当等に充てられています。どうぞ会員の皆様方には、ご理解とご協力のほどお願いいたします。